

多様な学習機会提供の取組事例

県内の市町教育委員会や社会教育施設、民間団体などが、不登校や様々な困難を抱える子どもや若者、外国人を対象として、体験活動やオンラインの学びの場など、多様な学習機会や学びの場を提供する取組を紹介します。

◇社会教育行政による取組事例◇

<足利市教育委員会・市内公民館の取組>

足利市では、地域の小学生を対象として、昭和59年から「少年の砦」事業を行っています。

この事業は、市内の公民館が事務局となり、関係団体等で実施委員会を組織して行われています。

「異年齢集団での仲間づくり」や「自分たちで考え、行動すること」を目標として、ハイキングや料理、ものづくりなど、自然体験を中心とした様々な体験活動を地域の団体等と連携して行っています。



※写真は足利市教育委員会事務局生涯学習課より提供

体験活動を通して達成感や充実感を味わいたいと考えている不登校傾向の子どもや特別支援学校の子どもも参加していて、様々な子どもたちを対象とした学習機会を提供する取組を継続しています。

<下野市南河内公民館の取組>

これまで、あまり公民館を利用する機会がなかった外国人を対象として、「こま回し」や「書道」などの昔遊びや伝統文化を通して、様々な国から下野市に来た外国人同士が交流する講座を企画しています。講師として、公民館を利用する自主サークルのメンバーを活用したり、外国人と交流したい日本人の参加を可能にしたりすることで、日本人と外国人との幅広い交流にもつながる取組になっています。



にほんぶんか であそぶ
日本文化で遊ぼう

「公民館」で日本文化に触れながら楽しい時間を過ごしませんか？
「和」の要素がたくさん詰まった交流会です。

(1) 対象Target : 外国籍の方Foreigner (2) 時間Time : pm2 : 00~3 : 30
(3) 定員Capacity : 15名 (4) 参加費無料Participation free
(5) 申込期限Deadline : 7月28日(金) 後期締切
※下野市で暮らす外国人の方と交流したい日本人の参加も大歓迎です。

回	月日	学習内容
1	10月14日(土)	和駒を回そう！～交流会～ Spinning top&Exchange meeting 講師：菊地 喜平氏
2	11月4日(土)	書道体験 Japanese Calligraphy Experience 講師：南河内公民館サークル「千山会」

※「下野市生涯学習情報誌『エール』令和5年度版」から引用

<栃木県教育委員会の取組>

栃木県教育委員会では、不登校児童生徒支援事業として、県内の青少年教育施設を会場に「ふれあいキャンプ」を開催しています。

この事業は、青少年教育施設の有する豊かな自然環境を生かした体験活動や宿泊活動を行うことで達成感や満足感を得ることを通して、自尊心や自己肯定感を高め、社会的自立に向けたきっかけをつくることを目的としています。

参加者は、学校の承認を得て参加するため、参加者は学校への出席扱いとなるのが特徴です。また、適応指導教室のスタッフやボランティアなども参加するため、参加者同士だけでなく、様々な方々とも交流することができます。

仲間と絆を深める3日間
ふれあいキャンプ

期日 11/9(水)～11/11(金)

会場 栃木県立太平少年自然の家

ふれあいキャンプとは？

【主催】栃木県教育委員会・栃木県町村教育委員会連合会
【協賛】下野市教育委員会、宇都宮市教育委員会、宇都宮市教育委員会、宇都宮市教育委員会

※チラシは、令和4年度のもの

◇NPOや民間団体等による取組事例◇



「教育機会確保法※」が制定され、NPOや民間団体を中心に「自由な学びの場づくり」の動きが広がっています。

※正式名称は「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」といいます。

<「ハロハロラボ」（真岡市）の取組>

ハロハロラボは、オンラインで「自由な学びと居場所」を提供している非営利団体です。

「朝の会」や「スタディ場」など、オンラインで参加者同士が交流したり、自由に学習したりする場づくりを行っています。他にも、「オンライン遠足」や「オンライン社会科見学」など、ボランティアや民間企業と連携し、オンラインでの様々な学習機会の提供に取り組んでいます。



ミーティングルームの様子



「オンライン遠足」の様子

※写真はハロハロラボより提供。プライバシーに配慮し、一部加工されています。

<「民主ラティックスクールつながるひろば」（栃木市）の取組>

「子どもたちの主体性を尊重した自由な学びの場」を目指して活動を行っています。参加する子どもたちの意思を尊重し、学校で学んだことの復習をしたり、公園で自由に遊んだりなど、様々な学びの機会を提供しています。また、様々な活動団体に協力していただくことで、SUP（スタンドアップパドルボード）、さつまいも掘り、野外調理などの体験の機会の提供にも取り組んでいます。



※写真は民主ラティックスクールつながるひろばより提供

<「NPO法人いちかい子育てネット羽ばたき」（芳賀郡市貝町）の取組>

「親子での自然体験活動」を活動の柱の一つとしています。里山遊びや田植え、タケノコ掘りなどを親子で体験し、親が子どもと一緒に活動して頑張りを認めたり褒めたりすることで、子どもの自己肯定感を育むことをねらいとしています。その他にも地域食堂や子育てサロンなど、地域のニーズに応じた事業を展開し、親と子どもたちの学習機会や居場所を提供しています。



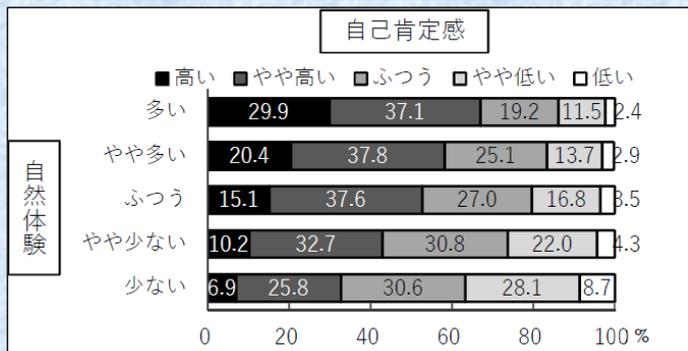
※写真はNPO法人いちかい子育てネット羽ばたきより提供

調査結果を踏まえた取組のポイント

1 多様な学習機会の提供のための支援

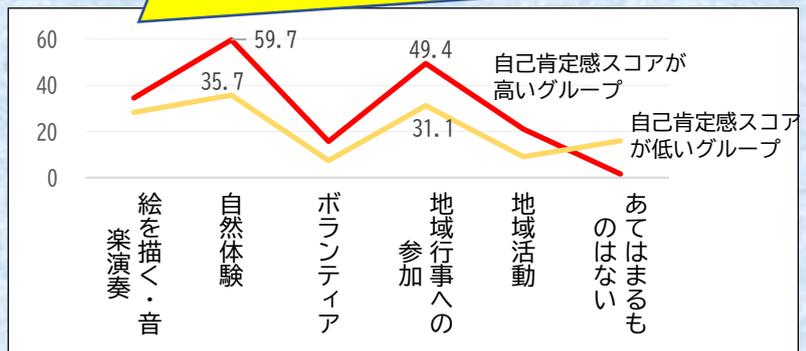
- ・自己肯定感の向上に効果がある自然体験等の体験活動、親子や異年齢集団での交流活動等の取組事例について調査し、その成果を周知します。
- ・オンラインによる学習機会の先行事例を紹介し、ICTツールの活用方法やオンラインによる学習機会の提供を促すための研修会等を開催します。また、市町社会教育行政等での取組を支援します。

自然体験などの体験活動の有無（多少）と自己肯定感との相関関係が、各種調査で明らかになっています。



自然体験と自己肯定感の関係

※国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する意識調査（令和元年度調査）」（令和3年）より



自己肯定感スコア（得点）のちがいによる社会参加の活動への参加の割合

※内閣府「子供・若者総合調査の実施に向けた調査研究 調査結果の分析・解説」（令和4年）をもとに栃木県総合教育センターで作成

2 インターネットを活用した学習情報の提供

- ・「とちぎレインボーネット※」を活用した学習情報の集約と、情報提供のための仕組みづくりを進めます。

※とちぎレインボーネット：栃木県内の生涯学習・社会教育に関する学習情報を集約して提供するWebサイト (<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>)

- ・SNSを活用した社会教育に関する学習情報提供の仕組みづくりを推進します。



3 多様な学習機会や学びの場づくりのための連携体制づくり

- ・多様な主体が連携できるよう、社会教育行政を中心として、民間団体等との情報交換や連携推進のための研修会等を開催します。
- ・市民活動支援センターや民間企業と連携して学習機会や交流の場をつくる取組など、様々な主体と連携した取組事例を周知します。

このリーフレットと本調査研究の報告書は、Webサイト「とちぎレインボーネット」からダウンロードできます。

とちぎレインボーネット 🔍

「共生社会の実現に向けた県民の学びの実態に関する調査研究
～困難を有する子ども・若者・外国人の支援者を対象とした調査結果から～」

令和5（2023）年3月発行
栃木県総合教育センター生涯学習部

住所：320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町1070番地

電話：028-665-7206

E-mail：skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp

URL：https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/



アン シン
栃木県総合教育センター
キャラクター



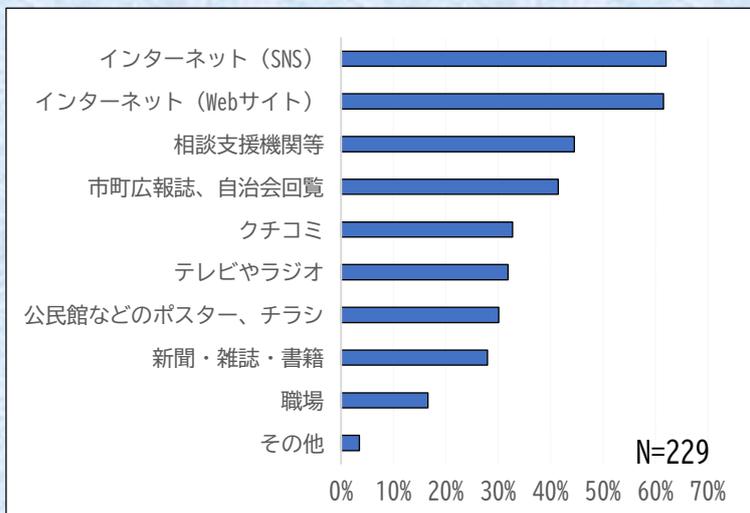
すべての子ども・若者に 多様な学びを

栃木県総合教育センター

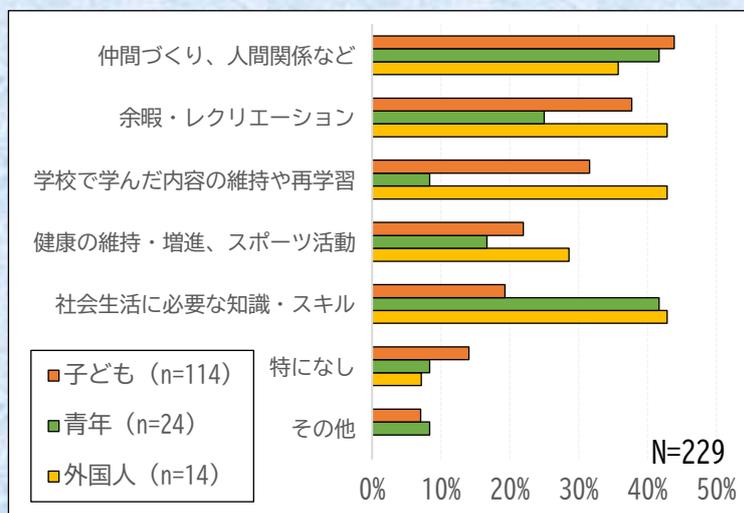
栃木県総合教育センターでは、子ども・若者・外国人の学びの実態についての調査結果を基に、様々な理由により困難を有する子ども・若者・外国人に対して必要な、学校以外での学習機会の提供に向けて取り組むべき方策を示しました。

多様な主体と連携した取組や、自然体験による交流やオンラインでの学習機会など、様々な学習機会の事例や、調査結果を踏まえた取組のポイントをまとめましたので、御活用ください。

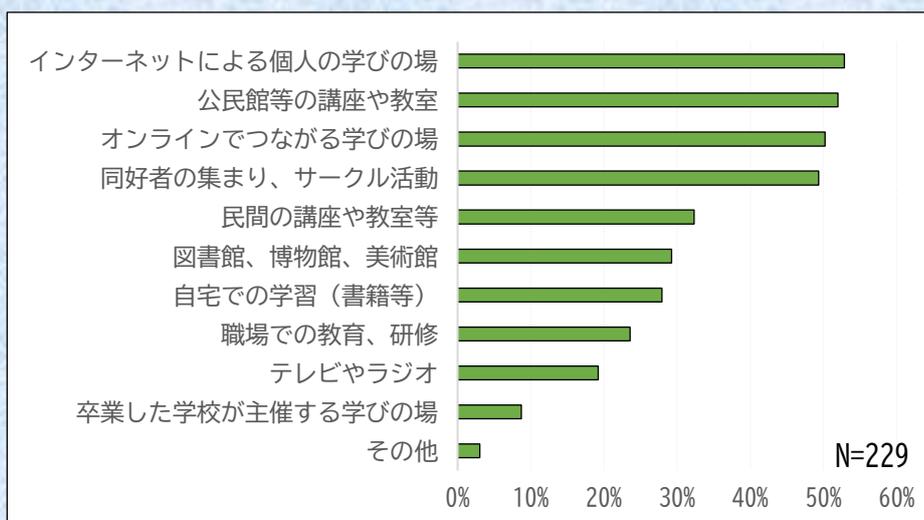
第36期栃木県社会教育委員会議「共生社会の実現に向けた県民の学びの実態に関する調査」質問紙調査結果より



情報を得やすいと考える方法 (複数回答)



必要性を感じる学習内容 (複数回答)



参加しやすいと考える学びの場や機会 (複数回答)

【調査結果から見てきたこと】

- ・「情報を得る方法」や「参加しやすい学びの場」として、インターネット (SNS、Webサイト) やオンラインが多く選択されていること
- ・必要性を感じる学びとしては「仲間づくり」「余暇・レクリエーション」「学校での学びの維持」「社会生活に必要な知識・スキル」が多く選択されていること